

非核・平和

第36回

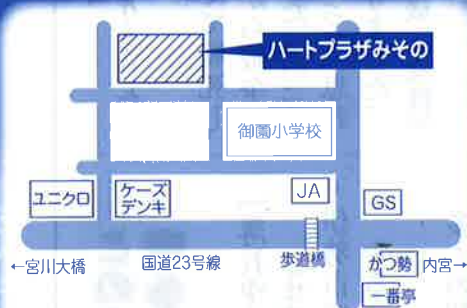
2014年

8.16(土) 17(日)

9:00~19:00 9:00~17:00

ハートプラザみその

伊勢市御園町長屋2767番地



●伊勢市コミュニティバス「おかげバス」御園ルート
伊勢市役所発「ハートプラザみその」下車

先人に学び、今をみつめよう

空襲展

このまちにも戦争があった

入場無料



主なイベント

- ・中学生ピースメッセンジャー 16日 9:30~
広島平和記念式典参加報告会
- ・映画「マヤの一生」(アニメーション) 16日 15:15~ 17日 13:00~
「アオギリにたくして」(映画) 16日 17:00~ 17日 15:00~
- ・「合唱と紙芝居(竹内浩三)」 16日 13:30~
出演:カンマーコール伊勢、劇団伊勢
- ・平和紙芝居「尾崎号堂物語と他1本」 17日 12:30~ 14:30~
- ・平和講演会 17日 10:00~

講師:佐藤真紀さん(日本イラク医療支援ネットワーク副代表)

スタンプラリー開催!!
プレゼントあります!

ゼロ戦のタイヤ展示

横浜ゴム所蔵



主催:非核・平和第36回空襲展実行委員会
共催:伊勢市・伊勢市教育委員会
後援:三重県教育委員会

〈お問い合わせ〉
非核・平和第36回空襲展実行委員会事務局
伊勢市勢田町613-13 伊勢地区労継承センター内
TEL 0596-25-1697(月~金 13:00~17:00)
<http://kushuten.yu-nagi.com>

昨年のお空襲展にお寄せいただいた
感想・体験談より



「鉄橋の下での夜明かし」

怖かった。本当に今思い出しても一人でよく逃げた。あの空襲の事。私はたつた七歳（厚生国民学校一年生）で、宮川（豊浜大橋）へ逃げ、近鉄鉄橋の下で朝を待ちました。

（76歳 男性）

「伝えていかなければと
思いながらも…」

戦争の辛いことがたくさんあつて、伝えていかなければと思ひながら、あまり話したくないのです。テレビでそういうドラマがあつてもみません。早く色々話しておかなくては、もう間に合いません。絶対に戦争はいけません。

（74歳 女性）

「今も忘れられません」

小学校へ入学する前の五、六歳の時でしたので、B29や焼夷弾の落ちてくるときのヒューという音が今も忘れられません。今もその音が耳から離れません。そのことを孫たちに話して、戦争のおそろしさや、平和の大切さを話しております。

（74歳 女性）

「浩三さんと父が
重なりました」

私も父がビルマで戦死したので、いつも母から戦争の話聞いていました。浩三さんと父の姿が重なって、思わず目頭が熱くなりました。

（70歳 女性）

「伝えていきたい父の話」

父が戦争に行きました。二度死にそうな時がありました。戦地にて病氣にもなり、帰つてからも再度戦争に行きました。フィリピンに行つた戦争の話をしてもらいました。多くの戦友がなくなり、悲しく語っていました。私も子供には言い伝えたいと思います。

（63歳 男性）



文章につきましてはできる限り
頂いた原文のまま掲載しています。

このまちにも
戦争があつた

「薄れゆく記憶を風化
させず、語り継ごう」
伊勢市空襲を記録
する会会報第38号

多くの観光客で賑わいを
みせるこの伊勢の地にもか
つて戦争によって多くの被害
を受けました。

1945年7月29日未
明、米軍爆撃機B29の編隊
から次々と投下された焼夷
弾は、当時の伊勢市の市街
地の多くを焼き尽くしまし
た。空襲により多くの方が
家を焼かれ、傷つき、肉親や
友人を失いました。

私たち伊勢市空襲を記
録する会は、歴史的事実を
知り、戦争によって多くの尊
い生命が奪われた悲しい過
去を顧みるとともに、「二度
と同じ過ちを繰り返させな
い」との想いで、1975年
以来、皆さんとともに『非
核平和空襲展』に取り組ん
でいます。

戦後69年目を迎え、当時
を体験した方たちが少なく

なり、語り継ぐことが年々
困難な状況になっていきます
が、過去に学び、平和な社会
を未来に引き継いでいける
ように、二人でも多くの方に
『平和』の尊さについて考え
ていただきたいと思います。

あなたへの体験談や資料
をお寄せください

みなさんから空襲や戦争
の体験談を募集していま
す。

お寄せいただいた体験談
等は、空襲展当日冊子にし
てご来場いただいた人に配
布させていただきます。

また、戦争中の生活の記
録写真、スケッチなどお持ち
でしたらご連絡ください。

【連絡先】

伊勢市勢田町613・13
伊勢地区労継承センター内
伊勢市空襲を記録する会
電話・FAX
0596(25)1697

